

## 平成29年度第2回習志野市文化財審議会会議録

日 時 平成30年3月22日(木) 午後2時～午後3時50分  
場 所 習志野市役所2階会議室2-1、2-2  
出席委員 山岸会長・夏目副会長・阿由葉委員・山本委員  
出席職員 植松教育長・井澤生涯学習部長・斉藤生涯学習部次長・奥井生涯学習部副参事  
(社会教育課長事務取扱)・松浦文化財係長・鶴岡副主査・岩田主事  
傍聴者 0名

### 会議次第・内容

#### — 開会 —

##### 1. 会長挨拶

会議次第「5. その他」の後半部は個人情報を含む調査に関わる案件であるため、非公開とすることに決定した。

##### 2. 教育長挨拶

##### 3. 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、夏目副会長と、山本委員が議事録署名人に選出された。

##### 4. 報告

###### (1) 指定文化財・登録文化財等

###### ア 県指定文化財

事務局 県指定文化財について報告。

- ・旧大沢家住宅及び旧鴛田家住宅について、平成30年2月末現在の入館者数を報告。
- ・旧大沢家住宅について下半期は昨年並みか比較的好調となっている。
- ・旧鴛田家住宅に関して、平年並みである。
- ・10月4日(水)中秋の名月の日に、旧鴛田家住宅でお月見の会を実施。曇天であった昨年と比較し月の出ている時間が長かったため、参加者は増加した。
- ・12月2日(土)旧鴛田家住宅落語会を開催した。事前申込制とし、参加者は41名であった。アンケートでも好評を得たが、冬の開催であったため寒かったという意見が多く、開催時期も含め検討したい。

###### イ 市指定文化財

事務局 市指定文化財について報告。

- ・実籾3丁目遺跡出土土器・谷津貝塚出土墨書土器・瓦塔について、総合教育センターで展示中。
- ・2月22日、藤崎正福寺の大イチョウについて枝葉が茂り過ぎていたため、樹木医指導の下、枝の剪定を実施。平成30年度に精密診断を予定している。

委員 落語会について、旧鴛田家住宅は暖房を使用してよいのか。

事務局 職員がそばについていて、何かあったらすぐに消火できるような態勢を取って使

用した。

委員 それでも寒いのではないか。

事務局 暖房を3台用意した。季節行事を取り入れたいと考えたので冬に行った。

委員 時間を変えても難しいか。例えば午前中に開催する等の対策は。

事務局 難しい。また、演者が客席に対し丁度逆光になってしまい、客席から顔が見えづらくなってしまったという反省がある。今後改善していきたい。

委員 江戸時代の住居であるため、江戸話をするというのは面白い試みだと思う。

委員 落語会の入場料は無料であったのか。

事務局 無料である。

委員 申込開始からどれくらいの期間で定員に達したか。

事務局 3週間程であったと記憶している。

委員 無料で落語が聴けるといってかなり興味がある人がいるのではないか。

事務局 実際に寄席に足を運んだことのある観客が多く、落語を聴くことに慣れた客が多かったという印象がある。

委員 三遊亭綱好という落語家は習志野に馴染みのある方か。

事務局 習志野市の公民館等でも演じていただいたことがある。

委員 事前申込制ということであるが、申込せずに当日来てしまった方への対応はどうしたのか。

事務局 事前申込の段階で定員に達しお断りした方がいたので、申込せずに当日来てしまった方にもお断りさせていただいた。

委員 面白い試みだと思う。開催時期や時間について検討していけば良いと思う。

委員 現代は博物館や古民家のような特別な施設でないところといった囲炉裏のある空間がない。囲炉裏を囲むような行事は良いと思う。

委員 参加者41名となっているが、その程度の人数で席が埋まってしまうものか。

事務局 今回『ツギノマ』で演じていただき、『ザシキ（ヒロマ）』、『イタノマ』の方に広がる細長い形状の客席とした。ドマを開放すれば立ち見等は出来るが。

委員 ドマに折りたたみ椅子等を設置出来ないか。

事務局 今度はドマを傷める可能性がある。

委員 高座の位置を工夫して逆光はどうにかならないか。

事務局 雨戸を閉め切ってしまうとライトの光のみにする等の対応は出来る。

委員 演者の感想はどうか。

事務局 寒かったということだった。また、準備した高座よりももっと高い方が良いとの意見だった。

委員 高座は学校の体育館から借りてきたのか。

事務局 公民館から借用した。

委員 ぜひ来年度も継続して欲しい。

## （２）埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。

委員 相談件数が増える原因として執務室が新庁舎に移り、他課との連携が取れているということが考えられるとのことであるが、それは良いことではないだろうか。

委員 習志野市は、開発が増加しているように思う。

委員 人口は増えているのか。

委員 増えている。

委員 どれくらいになるのか。

課長 17万1,000人から17万2,000人くらいである。

委員 大久保や、JR津田沼駅南口でマンション等建設が進んでいる。

委員 東京電力関係の開発は今後も続くのか。

事務局 続くと思われる。

委員 携帯電話関係のものか。

事務局 電柱移設によるものである。

委員 移設する電柱は私有地にある場合が多いのか。

事務局 公有地・私有地両方ともある。

委員 実叡の道路拡幅というのはこの後進むのか。

事務局 先ほど説明した実叡2丁目駅前遺跡の工事立会は実叡の交差点の道路拡幅と関連している。

委員 都市計画道路3・3・3号（藤崎茜浜線）が工事を行っているが、あの道路について相談はないのか。

事務局 あの道路は、県事業であるため、千葉県の教育委員会の職員が確認に来た。何か所かで試掘を行ったが遺物等は出てこなかった。

委員 今回の報告に出ていないのか。

事務局 平成25年度のことになる。

### （3）その他

#### ア 文化財等の調査・整理

事務局 市史関連資料の収集と現在保管している資料の整理について報告。

- ・市の歴史に関わる資料、主に書籍、写真、電子文献などの収集を行っている。
- ・市庁舎の移転に伴い、市史編さん室も市庁舎に移転した。

#### イ 文化財等の普及・活用

事務局 文化財等の普及・活用について報告。

- ・総合教育センターにおいては、引き続き市指定文化財の実籾3丁目遺跡出土土器、谷津貝塚出土資料を展示しているほか、小企画展「どうしてこのカタチ？—モノからわかる奈良・平安時代の谷津貝塚—」を3月16日まで開催した。次の小企画展は「鉄道連隊」を予定している。
- ・新市庁舎の展示スペースにおいて、市の歴史資料・文化財を展示ケース2個分常設展示中。現在は市内出土の考古資料（藤崎3丁目南遺跡、藤崎堀込貝塚、鷺沼古墳、谷津貝塚等）とドイツ捕虜収容所関連資料を展示中。今後も年1～2回入替予定。
- ・千葉県北西部地区文化財発表会が流山市で開催され、習志野市も参加。今後9月まで巡回展を行う。「まちづくり」をテーマとし、各市の文化財を紹介・展示。習志野市は「奈良・平安時代のムラづくり—谷津貝塚の事例から—」と題し、発表と展示を行った。
- ・歴史に関する講座への講師派遣、文化財等に関する問い合わせ、資料利用依頼への対応を引き続き行っている。
- ・史跡説明板の新設と修繕について説明。「谷津貝塚」の説明板を谷津奏の杜公園に新設。千葉工業大学脇「鉄道連隊跡」の板面が劣化したため、文章と写真を一新し、修繕する予定。板面にQRコードも掲載し、市のホームページで詳細が見られるようになる。

#### ウ 文化財保護行政の推進

事務局 文化財保護行政の推進について報告。

- ・千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会の活動について報告。
- ・研修会、講習会への参加について説明。

委員 市内の文化財説明板について他にも劣化が進んでいるものはあるのか。

事務局 ある。そのため、1年に1つを目安にして修繕を行っている。ほとんどの説明板は昭和50年代に作られたもので、場所に寄って差はあるものの同時に劣化しているような状況である。今回も本来は「花咲貝塚」の説明板の修繕を行う予定であったが、計画を繰り上げ、「鉄道連隊」の説明板修繕を行った。

委員 「鉄道連隊」の説明板について、元あった内容をそのまま変えずに修繕するのか。

事務局 内容や写真を見直して修正する。

委員 説明板の内容を見ると、「千葉工業大学通用門（鉄道第二連隊表門）」が文化財として国登録されていることが書かれていないように思われるが、ぜひ入れていただきたい。

事務局 校正の際に修正する。

委員 「谷津貝塚」の説明板は、縦90センチメートル×横180センチメートルほどの大きさになるか。

事務局 ほぼその位である。

委員 では、「鉄道連隊」のものはどうか。

事務局 縦70センチメートル×横90センチメートルくらいである。「鉄道連隊」の説明板は既存の説明板の板面のみの交換のため、大きくすることは難しい。

委員 説明板の脚は劣化していないか。

事務局 脚は劣化していない。金属ではなく、プラスチックのような素材が使用されている。

## 5. その他

### (1) 市史・文化財関係刊行物の計画について

事務局 習志野市の市史・文化財関係刊行物は、埋蔵文化財の発掘調査報告書やリーフレットを除き、しばらく刊行がなく、また、他市と比較して市史・文化財関係刊行物の種類が少ない。今後、文化財のガイドブック、写真集、石造物、通史概説書、地図集、民具に関する本の刊行を目指す。またパンフレット、ブックレット、のような形で、テーマ毎の刊行物の作成も検討している。

(他市の刊行物等を参考に回覧した。)

委員 このブックレットの単発的な1テーマのものは計画的に出せそうか。

事務局 原則職員が執筆することを考えているので、業務や人員等の状況を見ながら行っていきたい。

委員 習志野市史編さん委員会との連携はどうなっているのか。

事務局 習志野市史編さん委員会の御指導をいただきながら刊行していくことになる。今回習志野市文化財審議会でも報告させていただいたのは、刊行に伴う調査が文化財にも関わってくるため、それを含め御意見いただければと、報告した。

委員 他市等の発行するこういった刊行物を市民には有償配布しているのか。

事務局 有償配布しているところもある。特に博物館等が発行しているものは有償配布しているところがほとんどである。本市で刊行しているものも「習志野 ―その今と昔―」や習志野市史も販売しているので、今後の刊行物も有償にする予定である。

- 委員 博物館があると展覧会等に付随し、必然的にそれに向けて業務も進行すると思うが、日常の業務をしながら執筆をするのは困難ではないのか。
- 事務局 この計画を叩き台として、その都度計画は見直していきたいと考えている。
- 委員 職員の執筆は困難であるため、習志野市史編さん委員会に執筆はお願い出来ないか。
- 事務局 習志野市史編さん委員会でも同様の質問はあった。職員だけでカバー出来ない部分も多いため、習志野市史編さん委員会委員、習志野市文化財審議会委員にも分野によっては御指導・御協力をお願いするかも知れない。
- 委員 他の自治体では、自治体史の編さんに関連してブックレットを定期的に発行しており、やはり有償で販売している。市内の図書館、書店、学校で置いていて、内容は一般向けというより中高生向けくらいのわかりやすいものである。執筆については、編さん委員会の委員と地域の有識者等で分担して行っている。ただし、原稿料が発生するという問題がある。
- 委員 写真集についてであるが、廃業した写真館が古い写真を廃棄する例もあると聞く。
- 事務局 2月15日号の広報習志野とホームページで市の歴史に関する情報、地図や写真等お寄せくださいというお知らせを掲載し呼びかけをしているところである。
- 委員 以前、船橋、習志野と八千代に関する写真集があったがあれは民間の業者が出版したものか。
- 事務局 そうである。
- 委員 写真集、地図、民具等は市民の方のそういう活動団体があれば協力してもらえないか。もしなければそういうグループを作ってはどうか。写真集は自宅近くの写真であったり、地図が好きな方もいらっしゃるので市民の活動を巻き込んで行うのがよいのではないか。チームを編成すること自体が大変であろうと思うが。
- 委員 今、参考に見た資料の中では、印西市の写真集が素晴らしいものである。市が所蔵している写真はあるのか。
- 事務局 習志野市史を発行するときに収集したものがたくさんあるが、個人の写真を複写させていただいており、所有者が不明なものもある。著作権が明らかに切れているものであるならば使用可能であるが、権利関係を調べる必要がある。
- 委員 調べていく上でいろいろと出てくるであろう。

委員 しかし、素晴らしい計画であるのでぜひ実現させて欲しい。

委員 進捗状況を報告して欲しい。

事務局 今後の習志野市史編さん委員会、習志野市文化財審議会の会議で進捗状況を報告させていただきます。

委員 では、随時報告をお願いしたい。

—閉会—

会議終了後、市庁舎5階市史編さん室を視察。